

第2学年 英語科学習指導案

2年3組 男子 23名 女子 17名 計 40名
指導者 高野 佳之

【授業】 9:50~10:40 会場 2年3組 (3階)

【協議会】 10:50~12:00 会場 2年3組 (3階)

1 題材名 PROGRAM2 Koshien Project in Africa *SUNSHINE ENGLISH COURSE 2*

2 題材について

(1) 題材設定の趣旨

本題材は、「甲子園プロジェクト」を通じてアフリカの子供たちの教育に尽力した友成晋也さんについてアーニャと健がやり取りしている場面である。生徒たちは、日常的にスポーツに親しみがあり、野球を始めとする部活動や課外活動を通じてチームワークの大切さや目標にむかって日々努力することの重要性を体験している。しかし、その日常が他国にとっては「教育機会の提供」であったり、「平和構築」であったりするような大きな社会課題の解決に繋がっているという視点をもつ生徒は少ない。本題材では、身近なスポーツが社会貢献や国際協力の一助になるということに気付かせ、生徒の視野を広げる機会としたい。

本校の CAN-DO リスト第2学年、「話すこと（やり取り）」では、「与えられたテーマについて、意見や根拠となる1文程度の英文を付けて、自分の意見を述べることも、相手の意見を受けて相づちや短いコメントを伝えることができる。」を目指している。本文中には、友成晋也さんの詳細な心情が書かれているわけではなく、「なぜ友成さんは野球をアフリカに普及させようとしたのか。」や「なぜ教育と平和にこだわったのか。」などについては、読み手の背景理解と想像力を働かせて読み解く必要がある。教師の推量的発問を行うことで、「深い読み」を促すと同時に、思考を発展させ自身や他者の価値観について考えさせたい。その上で、生徒間でやり取りを行い、友成晋也さんの取組について本文を基に振り返り、自分の考えを整理し、理由を付けて発話できる状態を目指す。

言語材料としては接続詞の「that・when・if」である。それらを用いることによって自分の考えや、本文読解時に気づいたことや感じたこと等に関して、自分の考えを理由や根拠と共に、相手に伝えることができる。接続詞の活用によって複文構造を意識した発話内容に焦点を当てながら、ペアや教師とのやり取りで思考したことを英語で表現する力を付けさせたい。

友成晋也さんがアフリカではマイナースポーツとされる野球を通して、教育や平和について訴えた背景には、「教育とスポーツには人や社会を変える力がある。」という可能性を信じていたからに違いない。「国際協力」や「国際貢献」といった大きなテーマに対して「自分とは関係のない話だ。」と考える生徒もいるかもしれない。この題材を通してよりグローバルな視点を持ち、「自分たちには何かできることはないか。」というような国際協力や発展に寄与する態度を養いたい。

(2) 生徒の実態

生徒たちは、将来の夢、思い出の出来事などのテーマについて英語でやり取りする活動を行ってきた。自分の身の回りのことや身近なテーマに関して考えをまとまりのある英文で話すことができる。一方で本時で扱う「国際協力・教育支援」のような社会的な話題についての自身の考えを即興で伝え合うことには困難さを感じている。また、アフリカの子供たちの生活の様子は、日本の中学生にとっては想像し難いことが予想される。そこで、補助教材や教科書の写真等を提示し、それらについて理解を深め、教師 - 生徒間の対話を通じて考えを深めていく必要がある。

(3) 指導の構え

・発問の工夫

本題材には、「positive」や「good」などの抽象的な内容語が多く、それらの語にどのような意味が込められ、何を指しているのかが明示されていない場面がある。また英文中には友成晋也さんの取組の意図や目的について書かれていない箇所も多い。そこで「What are other goals of “Koshien project” ?」や「What is the positive effect?」といった推論発問を起点とした教師 - 生徒間の対話をすることで友成晋也さんの支援活動や想いに思考を巡らせ、本文理解を深めたい。

・資料の提示

アフリカのある一人の子供が野球を指導している友成晋也さんの下に駆け寄り、何かを話している様子が分かる資料を提示する。(下記参照) その写真では、ある少年が「Baseball is fairness.」と言った場面が映されている。その理由は、「野球は打順が平等に回ってくる。誰しものがヒーローになれるし、誰しものが公平だ。」ということだ。アフリカの子供から発せられたその言葉の背景には、住む場所や毎日の食糧確保もままならず、周辺では窃盗などの犯罪が頻発しているような過酷な状況下で生活していることが想像できる。この言葉にはどのような思いがあるのか、またアフリカの子供達の生活の状況について生徒に問いてアフリカの状況や子供達の心情を想像させたい。



3 「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」を実現する授業づくり

本題材が目指す「深い学び」の状態について

友成晋也さんの取組について、自分の考えとその理由を1文程度付けて意見を述べることができる。

英語1目標(3)話すこと[やり取り](イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりすることができるようにする」を目標としている。本文を読み深め、把握した内容に基づいて、「友成晋也さんの取組についてどう思うか」についてやり取りを行う。生徒が意見を構築する際に、本文読解時のやり取りの内容を想起させ、英語科の「見方・考え方」である「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」を働かせたい。級友との意見交流の中で、相手の発話内容に関連する質問をすることで、自分自身の考えをより深める機会としたい。

4 題材の目標

- 接続詞(that/when/if)の意味・用法を理解することができる。(知識及び技能)
- 友成晋也さんの取組やアフリカの状況について知り、自身の意見や理由を相手に伝えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- やり取りの中で、相手の発話内容に関連する質問をしたり自身の考えを伝えたりしてやり取りを継続・発展させようとしている(学びに向かう力、人間性等)

5 全体計画(全9時間)

第1次	・接続詞 that・if・when についての意味・用法を理解する活動。	…………… 3 時間
第2次	・Part1 の読解。 ・健が見たテレビ番組について自身の意見を伝え合う活動。	…………… 1 時間
第3次	・Part2 の読解。 ・友成晋也さんのこれまでの経緯などを知り、野球に込めた思いについて考え、伝え合う活動。	…………… 1 時間
第4次	・Part3 の読解。 ・友成晋也さんの取組についての自身の意見を伝え合う活動。	… 1 時間(本時)
第5次	・友成晋也さんの取組についての自身の考えを級友と伝え合うパフォーマンステスト	…………… 2 時間

6 本時の学習(全6/8時間)

(1) 指導目標

- ・友成晋也さんの取組とアフリカの状況を知り、自分の意見とその理由を相手に伝えることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 単語マシンガンを行う。 全体</p> <p>2 Part1,Part2 の内容を振り返る。 全体 T: Look at this picture. What are they talking about? S: They are talking about the TV program. T: What TV program did Ken watch? S: It's about the Koshien project in Africa. T: Please tell me about it. S: Koshien championship took place in Africa. Baseball is not popular there. Mr.Tomonari is promoting baseball.</p> <p>3 Part3 の本文の内容を聞く。 全体 ・聞く前に以下の2つの質問をして、内容を聞き取らせる。 Pre-Q1:What is one of the goal of the Koshien project? Pre-Q2:What will children learn if they learn baseball?</p> <p>4 開本し、本文全体の内容を確認する。 全体・ペア</p> <p>5 教科書全体の内容確認後、発問をする。 全体・ペア Q1:What are other goals of Koshien project? Q2:What is the positive effect? T: What are other goals of Koshien project? S: One of them is peace. T: Why do you think so? S: People in Africa can work with people in different countries through baseball. T: Great. What is the positive effect? S: We can learn many things by playing</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を想起できない生徒には、前時で使用した写真を提示し、その写真をヒントにやり取りをし、今までの学習の内容を振り返らせる。 ・英文の聞き取りに困難を感じている生徒がいれば、その生徒に助言したり本文の内容を繰り返し聞かせたりして質問に答えさせる。 ・机間指導を行い、表現や語句に戸惑う生徒には個別に支援を行う。 ・教科書に答えが書かれていないので、教師と生徒のやり取りを通して、発問の答えを推測させる。 ・机間指導を行い、答えに戸惑っている生徒には、表現を言い換えるなど、個別に支援を行う。

baseball. For example, trying hard is important.

T: Good idea.

6 2枚の写真を提示し、発問する。

全体・ペア

T: Look at this picture. One day, Mr.Tomonari asked him “Why do you like baseball?”. He answered “Baseball is fairness because we can get chances to play in batter’s box. It is fair.”

Why did he say so?

S:He doesn’t feel good in his life.

T:I feel the same. Look at another picture. Mr.Tomonari is coaching a baseball team. How do the children look?

S:They are listening to Mr.Tomonari.

T:What do you think about their clothes?

S:They don’t wear uniforms. Also, some children don’t wear shoes.

T:Exactly. Are African countries poor?

S:Maybe it’s poor.

T:How about education?

S:It’s not good. Some children can’t go to school.

7 学習課題を確認する。

全体

友成晋也さんの取組について、自分の考えとその理由を相手に伝えよう。

8 友成晋也さんの取組についての自分の意見を整理する。

個人

・ Thinking Time

9 ペアで意見を伝え合う。

ペア

【生徒同士の対話例】

S1: What do you think about Tomonari’s efforts?

S2: I think that Tomonari’s efforts are good for African people

S1: Why do you think so ?

・発問に対しての答えをキーワードとして板書することで、生徒がこの後行う言語活動で意見を構築しやすくさせる。

・アフリカの状況が想像しやすいように、教育、紛争、生活など様々な英語での投げかけ、現地の状況について考えさせる。

・発話内容に困っている生徒には、推論発問で出た答えをヒントに考えるように助言する。

・言いたいことが表現できずに戸惑っている生徒には、既習事項で表現を言い換えるなど、個別に支援を行う。

<p>S2: People in Africa can learn sportsmanship.</p> <p>10 ペアで発話した内容について全体で共有する。 全体</p> <p>【目指す発話例】</p> <p>T: What do you think about Tomonari's effort?</p> <p>S: I think that Tomonari's efforts are good for African people.</p> <p>T: Why do you think so?</p> <p>S: Because people in Africa can learn good manners.</p> <p>T: What are good manners about?</p> <p>S: If we can learn good manners, we can think for others.</p> <p>T: I feel the same. What is good for others?</p> <p>S: They can work together. Some of them can't go to school. We can give chances to learn many things.</p> <p>11 ペアでのやり取りや全体共有での反省をもとに、自分の意見について再考する。 ・ Thinking Time 個人</p> <p>12 ペアで意見を伝え合う。 ペア</p> <p>13 振り返りを行う。 全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒とのやり取りの内容から、生徒自身の意見やその理由が抽象的であれば、内容を深める質問をし、より詳細に自身の考えを表現できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【内容を深めるための質問・表現例】</p> <ul style="list-style-type: none"> What do you mean by ~? Could you tell me about that? What else do you think about that? Is there anything else? What can you do to ~? Do you have other examples? </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友成さんの取組やアフリカの状況について知り、自身の意見や理由を相手に伝えることができる。(思考・判断・表現)【観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 全体共有で出た意見や推論発問で出た答えをヒントに考えるように助言する。 言いたいことが表現できずに戸惑っている生徒には、既習事項で表現を言い換えるなど、個別に支援を行う。
---	---

7 授業観察の視点

- 本題材での目標にむけて、資料提示や推論発問での教師-生徒間のやり取りは、友成晋也さんの取組について意見を構築する上で有効であったか。
- 本題材の目標にむけて、全体共有の際の教師からの内容を深める問いかけは、自分の意見を再構築し、深める上で有効であったか。

～友成晋也さんの取組について自分の意見を伝えよう～

日時・場所:	月 () 各教室資料室						
方法:	指定された二人ペアで資料室に入り、「What do you think about Tomonari's efforts?」について2分間、自分の意見とその理由を伝えたり質問したりしてやり取りを行う。						
CAN-DO リスト関連項目: (2年前期)	与えられたテーマについて、意見や根拠となる1文程度の英文を付けて、自分の意見を述べることも、相手の意見を受けて相づちや短いコメントを伝えることができる。						
評価の観点	評価規準						
思考・判断・表現	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ① 友成晋也さんの取組やアフリカの状況を踏まえて自分の意見や理由を2～3文で伝えることができる。 ② 相手の質問内容に沿った応答をすることができる。 </td> <td> ・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ やや対話が滞ったり、何と言えよいか迷ったりする場面が見られるが、対話を続けることができる。 </td> <td> ・ Aであげた項目を1つも満たすことができない。 ・ 発言すべき場面で英語を話すことができず、不自然に沈黙が続く。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	① 友成晋也さんの取組やアフリカの状況を踏まえて自分の意見や理由を2～3文で伝えることができる。 ② 相手の質問内容に沿った応答をすることができる。	・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ やや対話が滞ったり、何と言えよいか迷ったりする場面が見られるが、対話を続けることができる。	・ Aであげた項目を1つも満たすことができない。 ・ 発言すべき場面で英語を話すことができず、不自然に沈黙が続く。
A	B	C					
① 友成晋也さんの取組やアフリカの状況を踏まえて自分の意見や理由を2～3文で伝えることができる。 ② 相手の質問内容に沿った応答をすることができる。	・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ やや対話が滞ったり、何と言えよいか迷ったりする場面が見られるが、対話を続けることができる。	・ Aであげた項目を1つも満たすことができない。 ・ 発言すべき場面で英語を話すことができず、不自然に沈黙が続く。					
主体的に学習に取り組む態度	<table border="1"> <tbody> <tr> <td> 【言語活動への取組】 ペアでの対話に意欲的に取り組んでいる。 </td> <td> ・ Aであげた項目のうち1つは満たしているが他は十分ではない。 </td> <td> ・ Aであげた項目を1つ、あるいは全く満たされていない。 </td> </tr> <tr> <td> 【コミュニケーションの継続】 相手に配慮しながら、主体的に英語を用いて粘り強くやり取りを継続しようとしている。 </td> <td> ・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ 相づちを打ったり反応したりしながらやり取りをしている。 </td> <td> ・ Aであげた項目を1つもみずたすことができない。 ・ 対話が滞った時に言葉をつなぐとせず、コミュニケーションを諦めている。 </td> </tr> </tbody> </table>	【言語活動への取組】 ペアでの対話に意欲的に取り組んでいる。	・ Aであげた項目のうち1つは満たしているが他は十分ではない。	・ Aであげた項目を1つ、あるいは全く満たされていない。	【コミュニケーションの継続】 相手に配慮しながら、主体的に英語を用いて粘り強くやり取りを継続しようとしている。	・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ 相づちを打ったり反応したりしながらやり取りをしている。	・ Aであげた項目を1つもみずたすことができない。 ・ 対話が滞った時に言葉をつなぐとせず、コミュニケーションを諦めている。
【言語活動への取組】 ペアでの対話に意欲的に取り組んでいる。	・ Aであげた項目のうち1つは満たしているが他は十分ではない。	・ Aであげた項目を1つ、あるいは全く満たされていない。					
【コミュニケーションの継続】 相手に配慮しながら、主体的に英語を用いて粘り強くやり取りを継続しようとしている。	・ Aであげた項目のうち1つ満たしている。 ・ 相づちを打ったり反応したりしながらやり取りをしている。	・ Aであげた項目を1つもみずたすことができない。 ・ 対話が滞った時に言葉をつなぐとせず、コミュニケーションを諦めている。					